平成 23 年度　事務事業事後評価調書　(平成　22　年度事業)

整理番号	11	―	36

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	スポーツ大会推進事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	髙橋健仁		氏名	佐藤公輔
事業の概要	町民の健康維持、体力づくりの奨励とスポーツを通じて、地域、世代間の交流･親睦を図るため各種スポーツ大会を開催する。					

全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)		
事業費	国･道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	2,050 千円
	事業費計	2,050 千円

実施方法	■ 直営	□ 民間委託	□ その他 ( )

第 5 期 総合計画 (前期)	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度	B

事業の位置付け			
政策目標	3	のびやか･雄武～教育･文化の振興～	
基本施策	13	生涯学習･生涯スポーツの推進	
単位施策	2	学習･スポーツ活動の推進	
事務事業の種類	■	自治事務	□ 法定受託事務
その他計画･根拠等			

事業費	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
国･道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	16 千円	11 千円	9 千円	千円	千円
雄武町負担額 (一般財源)	347 千円	354 千円	342 千円	400 千円	410 千円
合計	363 千円	365 千円	351 千円	400 千円	410 千円

2　事務事業の目的･内容 (Plan･Do)

【誰、何が (対象)】	町民
【抱える課題やニーズは】	大会の参加者が年々減少しており、参加促進が課題である。
【どのような状態になることを目指したのか (意図)】	大会参加後の各団体･グループでの単独開催。
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	仲間づくりや各世代間の交流を深めるとともに、自ら計画･実践を行う。

望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)

参加者数の確保

指標 (指標計算式／解説)	目標値及び実績値	
① 大会参加者	目標年度	22年度
	目標値	600 人
	実績値	523 人
	達成度	87.2 %
②	目標年度	
	目標値	
	実績値	
	達成度	%

内容 (どのような手段で何を行ったか)	
各種スポーツ大会の開催	町広報、新聞チラシ等による周知後申込受付。種目によっては参加負担金を徴収して開催。(オムリンピック、雪合戦、自治会対抗パークゴルフ大会、キンボール、さわやかスポーツ)

3　事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ･社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	少子･高齢が進む中、本町においてもスポーツ人口は減少しており、スポーツを全く行わない町民の解消のため、本事業は必要である。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 □達成 ■ほぼ達成 □下回る	軽スポーツ大会を開催することにより、幅広い年齢層の参加者が得られる。

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮･作業軽減 □その他	予算措置については必要最小限で行っており、参加費の徴収も行いながら効率的な事業実施を図った。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 ■受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	対象は一般町民であるため、広く町民に呼びかけ、参加者促進を進めたことから、公平性は保たれている。

4　総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休･廃止の検討が必要　等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の期待度が高いプログラム設定を行い、多くの参加者を確保しているが、今後は新たな内容も盛り込むよう検討しながら進めていく。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
スポーツは健全な精神と身体を養成し、心豊かな生活を過ごす上からも必要不可欠なものであり、今後もスポーツ機会の提供と継続は必要である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し･変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)